

2018年8月4-5日 夏合宿(笛吹川水系 釜ノ沢東俣)

参加メンバー:L倉澤、SL谷内、朝倉、久保、T橋、野中

当初8名参加の予定だったが、1人減りまた1人減り…と最終的に6名での夏合宿となった。

[1日目]

入渓点で既に2パーティーを目撃する。最終的には我々の他4パーティー入渓していた。さすが雑誌にも取り上げられる有名沢だけあり、入渓者が多い。

鶴冠谷出会いから入渓するが、いきなり大きな滝に阻まれる。そこは有名な沢なだけあり、高巻きのルートが高速道路並みにしっかりと付いており、また随所にFixロープが設置されている。下を覗くと1パーティーが、我々が高巻いている下を遡行している。泳ぐためか浮き輪を付けていた。高巻きのルートは山の神の下まで伸びており、我々はそのままホラ貝のゴルジュまで高巻く。途中、谷内さんが夕飯にと”ズミ”を収穫。さらにホラ貝のゴルジュを高巻くと、やっと沢に戻る事が出来た。乙女の滝まではゴーロが続く。東のナメ沢では登攀している人が見えた。西のナメ沢までは沢床が深いところが多く、ヘツリで通過する場面が多かった。魚止ノ滝の高巻きに30mロープを出すが、先のルートがどのようにになっているか不明なので50mロープを出し伸ばした方が良かったかもしれない。釜ノ沢出会いは、赤ペンキで大きく「釜ノ沢→」と書かれていた。沢なのに、非常に多くの看板とペナントが設置されており、沢ではないような錯覚に陥る。1680m付近で右岸に幕営、高台平地で水場も近い。非常に良い物件であった。夕飯は韓国風巻き寿司!! 皆で巻き巻きするのも楽しかった。

[2日目]

遡行図には1770m付近が幕営適地と記されていたが、我々が幕営した場所が一番良いように感じた。木賊沢出会い手前のゴーロ帶は、崩壊が強く大きな石も浮いており注意が必要だった。せっかくだからと、最後の大ナメ滝を肩絡みで確保してもらい登る。沢はそのままポンプ小屋に繋がっており、ポンプ小屋から程なくして甲武信小屋近くの登山道に出る。詰めが無く非常に楽であった。ザックはデポし、水とキュウリと残りのフランスパンを持って、甲武信ヶ岳山頂へ。下山に使用した近丸新道は長く非常に足が疲れる道であった。近丸新道とヌク沢との合流では橋が崩壊している上に、以降登山道も崩壊箇所があった。



[コースタイム]

1日目：西沢渓谷駐車場(6:40 発) — 鶴冠谷出合で入渓(7:40) — ホラの貝ゴルジュ(8:25) — 乙女ノ滝(9:45) — 西のナメ沢(10:45) — 釜ノ沢出合(11:40) — 両門ノ滝(13:05) — 1680m幕営地(14:15 着)

2日目：起床(4:00)～入渓(5:25 発) — 木賊沢出合(7:35) — ポンプ小屋(8:05) — 甲武信小屋(8:35) — 甲武信ヶ岳山頂(8:55) — 近丸新道分岐(10:55) — 西沢渓谷駐車場(13:00 着)